

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立男女共同参画推進センター(総合)

所管課 多様性社会・人材活躍推進局 男女共同参画・外国人活躍推進課

指定管理者 公益財団法人やまなし文化学習協会

1 指定管理者の推移

導入年度	平成21年度					委託料総額 (単位:円)
指定管理者名	出資 法人	指定期間				
公益財団法人やまなし文化学習協会 H24.3.31までは財団法人	○	H21.4.1	～	H26.3.31	5年	642,859,000
公益財団法人やまなし文化学習協会	○	H26.4.1	～	H31.3.31	5年	661,033,000
公益財団法人やまなし文化学習協会	○	H31.4.1	～	R5.3.31	4年	508,680,665
公益財団法人やまなし文化学習協会	○	R5.4.1	～	R9.3.31	4年	381,989,000

2 施設の概要

所在地	甲府市朝気1-2-2
設置年月日	昭和59年1月20日
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立男女共同参画推進センター設置及び管理条例
設置目的	県民に男女共同参画に関する学習の機会と交流の場を提供し、もって男女共同参画の推進に資することを目的とする。
主な業務の内容	(1)利用の承認に関する業務 (2)施設及び設備器具の維持保全委関する業務 (3)男女共同参画に関する学習機会と交流の場の提供に関する業務
主な施設内容 (定員等)	○敷地面積 4,296.88㎡ ○建築面積 1,766.31㎡ ○延床面積 4,020.25㎡(うち、山梨県立国際交流・多文化共生センター 専有面積196㎡) ○建物の構造 鉄筋一部鉄骨鉄筋コンクリート造り、地上4階、地下1階建て ○施設の内容 ・1階 団体連絡室、託児室、展示室、情報資料室、交流室、相談室、保健室、事務室 ・2階 大研修室(定員:100人)、中研修室(定員:64人)、小研修室(1)(定員:32人)、小研修室(2)(定員:16人)、会議室(定員:20人)、工芸・美術室(定員:24人)、調理実習室(定員:34人) ・3階 茶華道室(1)(定員:21人)、茶華道室(2)(定員:21人)、視聴覚・音楽室(定員:32人)、レクリエーション室(定員:50人)
備考 (改築工事等の状況、一括管理施設等)	施設の長寿命化改修工事を終え、R5年4月1日リニューアルオープン

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート概要(令和5年度事業分)

3 指定管理業務に係る収支状況

(単位:円)

年度 項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
収入合計	86,964,881	86,430,977	85,369,160	64,758,705	63,679,864	
支出合計	85,096,712	85,098,273	83,106,447	63,487,218	63,124,684	
収支差額	1,868,169	1,332,704	2,262,713	1,271,487	555,180	

4 利用状況、利用者満足度の状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	備考
利用実績	84,615人	29,690人	34,724人	10,925人	45,105人	施設利用者と事業参加者の合計
利用者満足度	◎	◎	◎	◎	◎	「満足」又は「どちらかといえば満足」の合計 ◎:80%以上 ○:60%以上80%未満 △:60%未満

5 運営目標の達成状況(令和5年度)

令和5年4月に長寿命化及び国際交流・多文化共生センターとの複合化による改修工事が完了しリニューアルオープンした。リニューアルオープンにあたっては、利用者に混乱が生じないよう個別通知やホームページ、SNSによるきめ細かい広報を行った。

今年度から新たな指定管理期間となり、これまでどおり利用者への使いやすい設備、質の高いサービスの提供、男女共同参画の一層の推進を図る事業実施に取り組んだが、利用実績は目標値(60,297人)に対し▲25%減となった。工事による休館中に他の施設に流れた利用者が戻りきっていないこと、国際交流・多文化共生センターの利用者への広報が不足していたことが理由として挙げられる。

一方で、事業参加者は拠点となるびゅあ総合で実施できるようになったことや、積極的なオンライン講座の実施、市町村男女共同参画推進委員会や県主催事業との連携などの工夫した取り組みにより前年度比65%増となった。

6 施設所管課による総合的な評価及び指導事項(令和5年度)

大規模改修を終え、令和5年4月より、国際交流・多文化共生センターと併せてリニューアルオープンをした。オープンにあたっては各種SNSやホームページを活用し、周知広報を行っていたが利用者は減少。引き続き、周知広報を行う事を要請した。

また、令和5年度よりびゅあ総合に県の職員が常駐する事となったことから、事業実施にあたっては、県及びセンターの事業効果が最大限になるよう連携して行うとともに、オンラインなどを活用することで、最終的な利用者数は、令和3年度利用者数比で30%増加した。(令和4年度は改修工事により利用可能施設の規模が小さくなったため、改修前の令和3年度を比較対象とした)。

なお、実施する事業内容については、講座等実施後のアンケート等により利用者のニーズを把握し、そのニーズを反映した事業を実施することを要請した。

7 施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況(令和5年度)

びゅあ総合では継続して、SNSやホームページ、関係団体への通知等で周知を行った。
実施事業については、アンケート等による事業参加者や利用者のニーズを踏まえ、事業の検討、実施を行った。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

施設名 山梨県立男女共同参画推進センター(総合)
 所管課 多様性社会・人材活躍推進局 男女共同参画・外国人活躍推進課
 指定管理者 公益財団法人やまなし文化学習協会

1 利用状況 (単位:人、%)

		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数	入場者数	67,185	24,356	29,809	4,921	35,182
	事業参加者数	17,430	5,334	4,915	6,004	9,923
	利用者数合計	84,615	29,690	34,724	10,925	45,105
	目標値	96,700	96,900	97,100	97,300	60,297
	実績/目標割合	87.5%	30.6%	35.8%	11.2%	74.8%
	目標値の設定方法	指定管理者指定申請書に基づく				
利用率	稼働率等(利用率)	22.1%	22.9%	26.6%	28.4%	25.2%
	稼働率等(利用率)の算定方法	年間の午前・午後・夜間の貸館日数/{3(午前・午後・夜間)×開館日数}				

2 類似施設・近隣施設

名称・施設内容等	(1) 甲府市総合市民会館 (2) 山梨県生涯学習推進センター
----------	------------------------------------

3 補修工事等の状況(令和5年度) (単位:円)

管	太陽光発電設備機器再設定	56,100
管	男子トイレ手洗い場の詰まり修繕	7,986
管	女子トイレ手洗い場の詰まり修繕	7,755

修繕等の負担区分(基本協定書): 1件20万円未満の修繕等は指定管理者が実施
 *ただし、上記にかかわらず、県の承認により、指定管理者が修繕等を実施することができる。

4 自動販売機設置状況等(令和5年度) (単位:円)

台数	選定方法	収入割合	収入額	仕入(支出)額
1	随意契約	売上額の25%	132,134	

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

6 自主事業の実施状況

	事業名	対象者	実施場所
1	映画「ココ・シャネル 時代と闘った女」上映会	一般県民	びゅあ総合
2	親子で学ぼう！お肉が食卓に届くまで	一般県民	びゅあ総合
3	親子で学ぼう！県産食肉を使った料理教室(なかよしチャレンジ)	親子	びゅあ総合
4	親子で学ぼう！県産食肉を使った料理教室(カジダンチャレンジ)	父親と子ども	びゅあ総合
5	トンボ玉づくり	母親と子ども	びゅあ総合

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

7 利用者満足度

実施方法等	実施時期: 令和5年4月～令和6年3月 実施方法: 施設利用者及び事業参加者へのアンケート 回答数: 772人(利用者アンケート: 454人、事業アンケート: 318人)			
	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
施設設備の充実度	81.9%	17.4%	0.7%	
施設・設備の整備状態	85.7%	13.4%	0.9%	
サービスの内容	87.0%	12.3%	0.4%	0.2%
事業	78.6%	18.6%	2.8%	
施設全般の満足度	79.1%	19.6%	1.1%	0.2%
利用者の主な意見	<p>【施設設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> もう少し駐車場があれば 駐車場の看板を大きくわかりやすく設置してほしい。 リニューアルオープンして一層使いやすくなりました。 マイクやプロジェクターが無料で借りられるのはありがたい。 予約のオンライン化 昼食ができる飲食店が欲しい。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> わかりやすく共感できる話でした。男性の参加者の方も普通に良いと思いました。(男女共同参画基礎講座「はじめてのフェミニズム」) シャネルの生涯、ファッションを男女共同参画の視点から学ぶことができました。(男女共同参画推進月間記念講演会「ココ・シャネルとその時代」) なかなか一般的な講演会でできない内容をテーマとして企画していただけることを有難く思います。今後も機会をいただき参加したいと思います。はっきりいって、今まで男女共同参画センターは何をしているのか、どのような活動をしているのか知りませんでした。(DV問題を考える講演・報告・ディスカッション) 			
利用者の意見への対応	<p>【施設設備】</p> <ul style="list-style-type: none"> 駐車場については、わかりやすい案内図を受付で配布し、利用料金支払時等に渡しているほか、駐車場現地にも他の契約者に迷惑が掛からない範囲で大きな看板を設置した。 予約システムは令和6年4月1日を目途にオンラインに移行予定。積極的に広報していく。 リニューアルオープン時に準備が間に合わず喫茶コーナーの開店が遅れてしまったが、オープン後は積極的に広報し、施設利用者以外の方にもご利用いただいている。 <p>【企画事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 様々な切り口から男女共同参画を学び、推進につなげるた県民ニーズの把握に努め、企画力の向上を図ります。 センターの役割、事業を広く知っていただくため、SNSやHPを使った広報に一層努めます。 			

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

8 評価結果

項目	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	<p>指定管理者の施設の維持管理業務は法令、業務計画に基づき適正な管理・運営に努めた。</p> <p>山梨県立国際交流・多文化共生センターとの複合施設として4月1日にリニューアルオープンしたが、維持管理業務の情報提供を密に行い、双方の円滑な施設運営に努めた。</p> <p>利用者の安全・安心を適切に確保するため、「利用者の安全管理マニュアル」に基づき職員研修や大規模災害を想定した防災訓練、消防訓練を実施するとともに、避難誘導経路の確認と点検、利用者への周知を行った。</p>	<p>びゅあ総合については、令和5年度より、同施設内に山梨県国際交流・多文化共生センターが併設した。このことにより、施設維持管理や、利用者対応、災害対応など、これまでの運用を見直し調整する必要が出てきたが、適切な運用に向け調整が行われたことは評価される。</p> <p>びゅあ総合においては引き続き、施設の適切な維持管理に向けて、国際交流・多文化共生センターとともに運営されたい。</p>
運営業務	<p>設置及び管理条例、施設利用及び利用料金に関する事務取扱要綱、業務計画書に基づき、適正に業務を執行した。</p> <p>リニューアルオープン及び山梨県立国際交流・多文化共生センターとの複合化に伴う施設利用や予約について、利用者に混乱が生じないよう、特に上半期は利用者への広報やSNSによる周知に努め、新規利用者の開拓にも努めた。</p> <p>企画事業については今年度から県の担当者が常駐することにより連絡調整を密に図りながら市町村男女共同参画推進委員会や民間団体等と連携して、事業計画に基づき県の第5次男女共同参画計画の重点施策に係る事業を積極的に実施し、地域の男女共同参画の推進に努めた。</p> <p>また国際交流・多文化共生センターとはフェスティバルで共催し、男女共同参画及び多文化共生の視点で交流を深めた。</p> <p>相談事業については新たに相談担当リーダーを設置して関係各機関との連携・交流を深めたほか、DV相談者が安心・安全に支援を受けられるために、加害者に対する危機管理・情報管理などが適切に行えるよう、独自に作成したマニュアルにより研修会を開催したほか、相談員以外の職員もDVに関する基礎知識等を学ぶ事業に参加した。</p>	<p>令和5年度は、各種実施要綱の見直しを行いながらも、適切な運営に努めていた。</p> <p>リニューアルオープンに向けたSNS等の広報活動は行われていたものの、周知不足等により4月の利用者数は前年度比で減少していた。周知広報についてはより効果的な方法について検討すること。</p> <p>各種事業の実施においては、令和5年度より常駐することとなった県の職員と共同しながら、効果的な事業展開を行っていた。そのほか、講座や研修会では、集合開催だけでなくオンライン配信を併用した実施により、より多くの方に参加してもらう機会を提供した点や、びゅあフェスティバルを国際交流・多文化共生センターと共催した点など、より効果的、効率的な事業実施の姿勢は評価できる。</p> <p>相談事業については、適切な対応に向けた研修会を実施するなど、その取り組み姿勢については評価できるが、相談対応の状況について、利用者から施設所管課に意見が寄せられることもあったため、相談対応については、丁寧に対応されたい。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

<p>利用状況</p>	<p>前年度(令和4年度)は施設改修により休館していたため単純な比較にはならないが、貸館及び企画事業の利用者数は前年よりも412.9%の増加率となった(令和3年度比較130%)。</p> <p>施設利用については新型コロナの感染対策の緩和、リニューアルオープンによるWi-Fiの完備などの利用しやすさをPRして利用者の増加を図るとともに、企画事業についてはできるかぎりオンライン配信を行って多くの方に学習機会を提供した。</p> <p>また、引き続きSNSを活用して想定する参加者層に適切に広報を行い、事業参加者は前年度よりも165.3%の増加となった。</p>	<p>新型コロナウイルス対策で、制限していた施設内の各部屋の利用人数を緩和したことにより、利用者は同規模での施設運営をしていた令和3年度と比較すると増加した。</p> <p>また、インターネット環境を整備したことにより、利用者の利便性が向上し、より多くの方に利用されていた。</p> <p>しかし、交流室に設置している図書に対して利用者から意見が寄せられることもあったため、利用者のニーズをとらえ、施設がより活用されるような取り組みをされたい。</p>
<p>収支状況</p>	<p>約一年間の改修工事による休館を経て4月1日にリニューアルオープンした。このため利用料金収入については単純に比較できないが対前年度比511%の増加となった。</p> <p>また、その他収入の大幅な増額は、国際交流・多文化共生センターとの複合施設化による維持管理費の負担金によるもの。</p> <p>支出については収入と同様の理由により全体的に増額となっているが、外部委託費、光熱水費、消耗品費がそれぞれ対前年度比285.6%、276.9%、218%に増加している。</p> <p>負担金支出の大幅な減額は、参加費負担金を預かり収入としていた「日本女性会議」が実施されず、参加しなかったため。</p>	<p>同規模での施設運営を行っていた令和3年度と比較すると、利用料金収入については、11%増加している。</p> <p>また、多額の負担金支出が発生しなかったため、収支差額は直近5年間で最小の黒字となっているが、負担金分を考慮してもなお、大幅な黒字となっている。収入の多くは指定管理料となっているため、収支差額の黒字分を利用者サービスの向上に活用するなど工夫をされたい。</p>
<p>自主事業</p>	<p>例年、山梨県における男女共同参画推進の拠点として、多くの県民が認知し、親しみをもっていたことを目的として開催しているが、今年度は施設がリニューアルオープンしたことからより広く施設を周知するため、男女共同参画に関する映画を上映したり、男性の家庭参画促進のための料理教室を山梨県食肉事業協同組合連合会との共催で開催したり、年齢や性別を問わず参加できる事業を開催した。</p>	<p>他の機関と連携し、男性の家庭参画促進のための取り組みを行った点については評価できる。</p> <p>今後の自主事業については、施設の利用者獲得のためにも、県民のニーズを捉えながら、積極的に実施されたい。</p>
<p>利用者満足度</p>	<p>施設設備及び企画事業において100%近い利用者から施設設備に関して「満足」「どちらかといえば満足」の評価をいただいた。</p> <p>施設がリニューアルしたことによる高評価も考えられるが、引き続き一層のサービス向上を図り、利用者の声を大切にしながら今後も満足度の維持・向上に努める。</p> <p>事業については今後も社会情勢やニーズの的確な把握に努め、本県における男女共同参画の推進に資する魅力的な事業を企画していく。</p>	<p>利用者満足度は、非常に高い評価を得ていることから、引き続き現在の水準を維持できるよう、サービスの提供に努められたい。</p> <p>事業においても、利用者のニーズを捉えながら、より魅力的な展開に努められたい。</p>

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

9 施設所管課による定期評価結果

施策推進 業務の内容	評価	改善内容
施設の利用 促進業務	(3館共通事業) センター利用者は高齢層が多いため、若い世代の施設の利用促進を図る目的で、ツイッター・インスタグラムによる広報活動を実施。 R4年度フォロワー増加数実績285人の10%増である314人増を目標に設定。積極的な広報を行った結果、R5フォロワー増加数は318人増となり、目標値を上回る結果となった。	広報内容については、講座情報にとどまらず、県内外の男女共同参画に関連する情報や、各地域で活躍する方の情報などを発信し、情報の有益性を図る。また、センターの利用者数を増やすため、リニューアルオープンや貸館に関する情報も積極的に発信する。
普及・啓発 (ぴゅあフェスティバル)	(3館共通事業) ぴゅあ総合と国際交流・多文化共生センターとの複合化や、感染症対策の緩和を踏まえ、「ぴゅあフェスティバル」を男女共同参画推進センターと国際交流・多文化共生センターと合同で開催。フェスティバル参加団体の目標を同規模で行っていたR3年度の参加団体の10%増に設定。共同開催ということもあり、R5実績は45団体と目標を大きく上回る結果となった。	共同開催は初の試みだったが、参加団体が増加したことは成果としてあげられる。一方で、講演の内容や、参加団体の成果発表の方法などの課題も確認できたため、以降の開催においては、これら課題にアプローチをしてより効果的な運営ができるよう取り組まれたい。
相談対応業務 (配偶者暴力相談支援センター)	(3館共通事業) DV被害者の相談窓口として、相談業務を実施。R4年度相談受付件数332件の10%増である365件を目標に設定。ぴゅあ総合のリニューアルオープンを踏まえ、積極的な広報を行った結果、R5実績は423件と目標を大きく上回る結果となった。	DV相談が必要な人に相談窓口の存在が認知されるよう、引き続き様々な媒体を活用して周知を図る。

指定管理施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート詳細(令和5年度事業分)

10 管理体制(組織図)

令和5年4月1日現在

